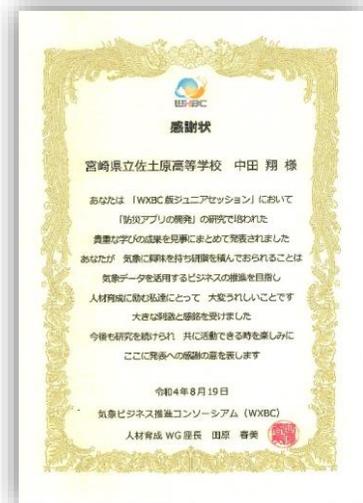
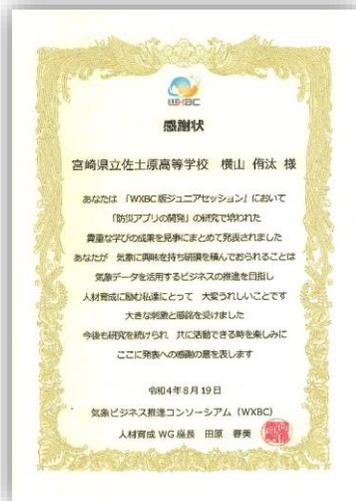


# 気象ビジネス推進コンソーシアム(WXBC)ジュニアセッションで、防災アプリを発表しました

8月19日(金)、気象の専門家が80名参加された場で発表しました。

気象ビジネス推進コンソーシアムとは、産学官連携による気象データを活用したビジネス(気象ビジネス)の推進を目指して、気象、IoT、AI等の専門家や幅広い産業分野の企業、気象事業者等を構成員として活動している組織です。今回発表した高校は、日本気象学会ジュニアセッションで発表した高校の中から選抜された6校でした。



## 参加者からの感想

・高校生でもこのようなアプリケーションをつくってしまえるのは、すごく時代が変わった感じがしました。防災情報は日本人だけでなく、海外の旅行者や就労者も知りたい情報ですので、英語版のアプリがあるとさらに良いなと思いました。

・宮崎地方気象台が監修していますが、今後、自府県で同様な取り組みがあった場合、地方気象台でどう対応すればよいか、参考になりました。

・既に実用レベルに近いアプリのクオリティ、地元気象台職員とのコミュニケーションを取りながら進めている機動力、どれも素晴らしく、今後の拡張性が非常に楽しみ

・もう立派な防災のコンテンツです。あと少し加えればトップクラスの防災アプリになります。

・伝言掲示板レベルと思っていましたが、商用でも問題ないレベルで驚きました。またAR対応も実施していて、本当に使用者のことを考えられていると感じました。

など